




地球のために、未来のために、
みなさまの500円が役立ちました。



国内外の
環境修復と
保全

熱帯雨林保全 [定置型農業支援] (パプアニューギニア/ソロモン)

秦嶺山脈 森林・生態系回復 (中国)

種まき塾 (日本・北海道)

南太平洋諸国支援 (キリバス/ツバル)

シルクロード緑化 (中国)

循環型農業支援 (フィリピン)

内モンゴル緑化 (中国)

北タイ山岳地帯 共有林地図作成 (タイ)

次世代の育成

野口健 環境学校 (日本)

学校の環境教育支援 (日本全国)

さとやま学校 (日本・長野県)

エコキャビンスクール (日本・岩手県)

コスモ石油エコカード基金
活動報告書 2010

第8期: 2009年4月1日~2010年3月31日

コスモ石油
エコカード基金

ずっと地球で暮らそう。

2010

「ずっと地球で暮らそう。」 プロジェクトについて

Message

コスモ石油エコカード基金は9年目。
これからも会員の皆さまとともに。

コスモ石油エコカード基金は、2002年4月に生まれ、2010年4月で9年目に入りました。昨今の厳しい経済情勢の中、これだけ長く続けてこられたのは、ひとえに8万5千人もの会員の皆さまの支えによるものです。皆さまにはここに厚く御礼を申し上げます。

私は2009年9月に、支援先プロジェクトである「種まき塾」で行われたエコツアーにエコカード会員の皆さまとともに参加しました。森の中から「実生」を採取し、ゴルフ場跡地を元の自然林に戻すための植林活動を通じて、北海道・富良野の空気や土を五感すべてで感じられたこと、何より一緒に参加した会員の皆さまからさまざまな感動の声をお聞きできたことで、プロジェクトの意義を改めて確信しました。この報告書を通じて、私が感じたことやプロジェクトの現場の空気を少しでもお伝えできれば良いと思います。

そして、皆さまからお預かりした基金をより有意義に活用するために、我々が会員の皆さまになり代わり、透明性と健全性を意識した基金の運営を続けることが重要であると考えます。来年は10年目という節目に当たります。長い目で長期的に取り組むもの、短期間で集中的に取り組むものなど、メリハリをつけて支援を行っていきたくと考えております。

最後に、当基金をご支援いただいている会員の皆さまに改めて心から御礼を申し上げます。今後とも温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



コスモ石油エコカード基金
理事長

松村 秀登

「種まき塾」エコツアーにて

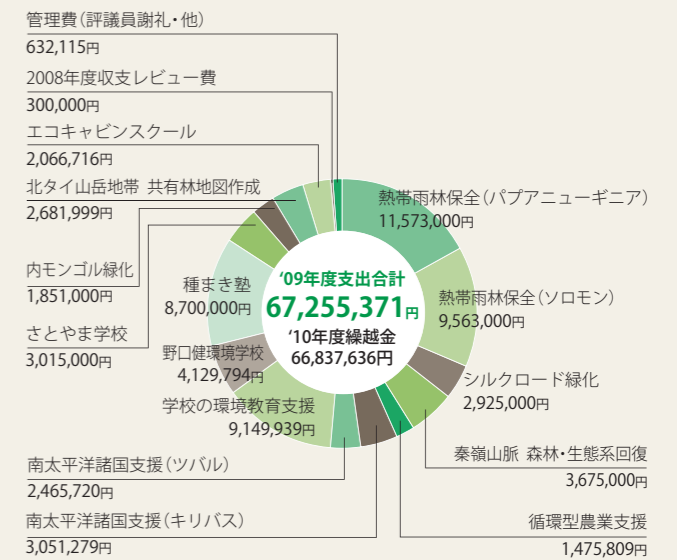
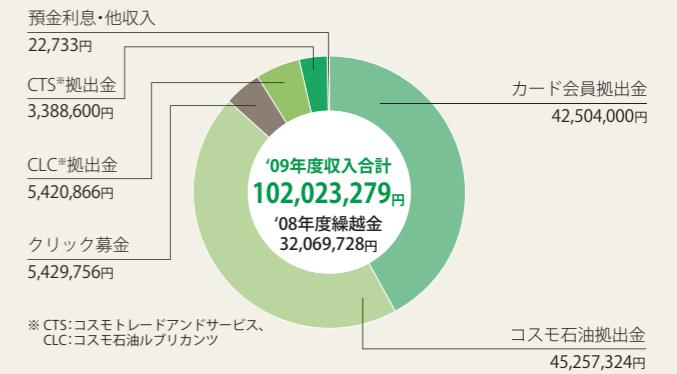
コスモ石油エコカード基金では、「国内外の環境修復と保全」及び「次世代の育成」をテーマに、持続可能な社会の実現をめざしています。

本基金で展開している「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクトでは、

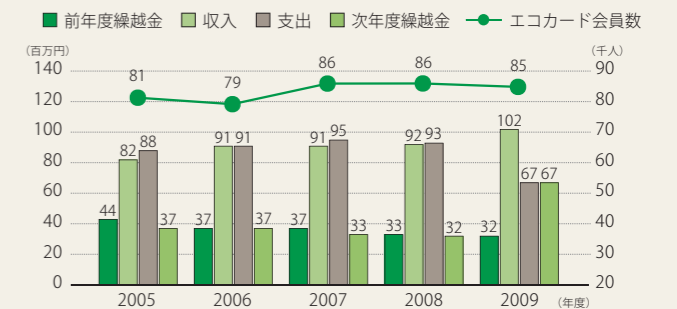
「地球温暖化問題への取り組み」及び「生物多様性の保全」という2つの側面から、環境問題には、貧困、食糧難、教育など、さまざまな社会的な課題が密接に関連しているという現実を踏まえ、本質的な問題解決に取り組んでいます。



●収支報告



●資産規模と会員数の推移(過去5年間)



収支計算書に対する独立した公認会計士のレビュー報告書

2010年4月23日 公認会計士 加藤 俊也

私は、コスモ石油エコカード基金(以下、基金という。)の委嘱に基づき、基金の2009年度(2009年4月1日から2010年3月31日まで)の収支計算書について、日本公認会計士協会監査・保証実務委員会研究報告第20号「公認会計士等が行う保証実務等に関する研究報告」に準拠してレビューを行った。レビューの結果、上記の収支計算書が、基金の2009年度(2009年4月1日から2010年3月31日まで)の収支の状況を適正に表示していないと認められる事項は、すべての重要な点において発見されなかった。基金と私の間には、公認会計士法の規定に準じて記載すべき利害関係はない。

10 学校の環境教育支援

エコカード会員×1,039人の支援で1校の小中学校が1年間、環境教育を受けました。



自然体験プログラムなどのノウハウを持つ日本各地のNPOと、ノウハウや機会を探している学校をつなぎ、環境教育プログラムを提供しています。

2009年度は日本国内9校の環境プログラムを支援。2010年度は小中学校9校での環境プログラムを支援予定です。

環境教育サイト「EE kids」
http://eco.goo.ne.jp/education/eekids/



11 さとやま学校

エコカード会員×18人の支援で、学生1名が環境教育を受けました。



日本人にとって身近な自然「里山」の保全・再生と、次世代を担う人材の育成を目的に、長野県飯綱町の耕作放棄地を活用し、農業教育プログラム「さとやま学校」を提供しています。

2009年度は、小学校3校で326人が参加しました。2010年度は、これまでの活動を改善しながら継続し、より多くの学校に参加していただけるように活動していく予定です。



9 野口健 環境学校

エコカード会員×173人の支援で「環境メッセンジャー」1人が誕生しました。



自分から環境に対して働きかけ、多くの人にメッセージを発信できる「環境メッセンジャー」の育成を目的に、アルピニストの野口健さんを校長とした「環境学校」を開催しています。

2009年度は白神山と富士山で各1回環境学校を開催し、延べ38人が参加しました。2010年度は中学生から大学生を対象に、佐渡島と白神山で環境学校を開催する予定です。



次世代の育成

12 エコキャビンスクール

エコカード会員×296人の支援でエコキャビンにLED照明設備を設置できました。



エコロジカルな暮らしを学ぶ「エコキャビンスクール」では、小中学生を対象に太陽光発電や風力発電、バイオマスなどの自然エネルギーを使って生活が体験できるプログラムを提供しています。

2009年度は春夏秋冬の4回、子どもたち延べ49人を集めてスクールを開催しました。当基金からの支援は2009年度で終了ですが、リピーターも増えているので、これまでの成果を活かしてスクールは継続されます。

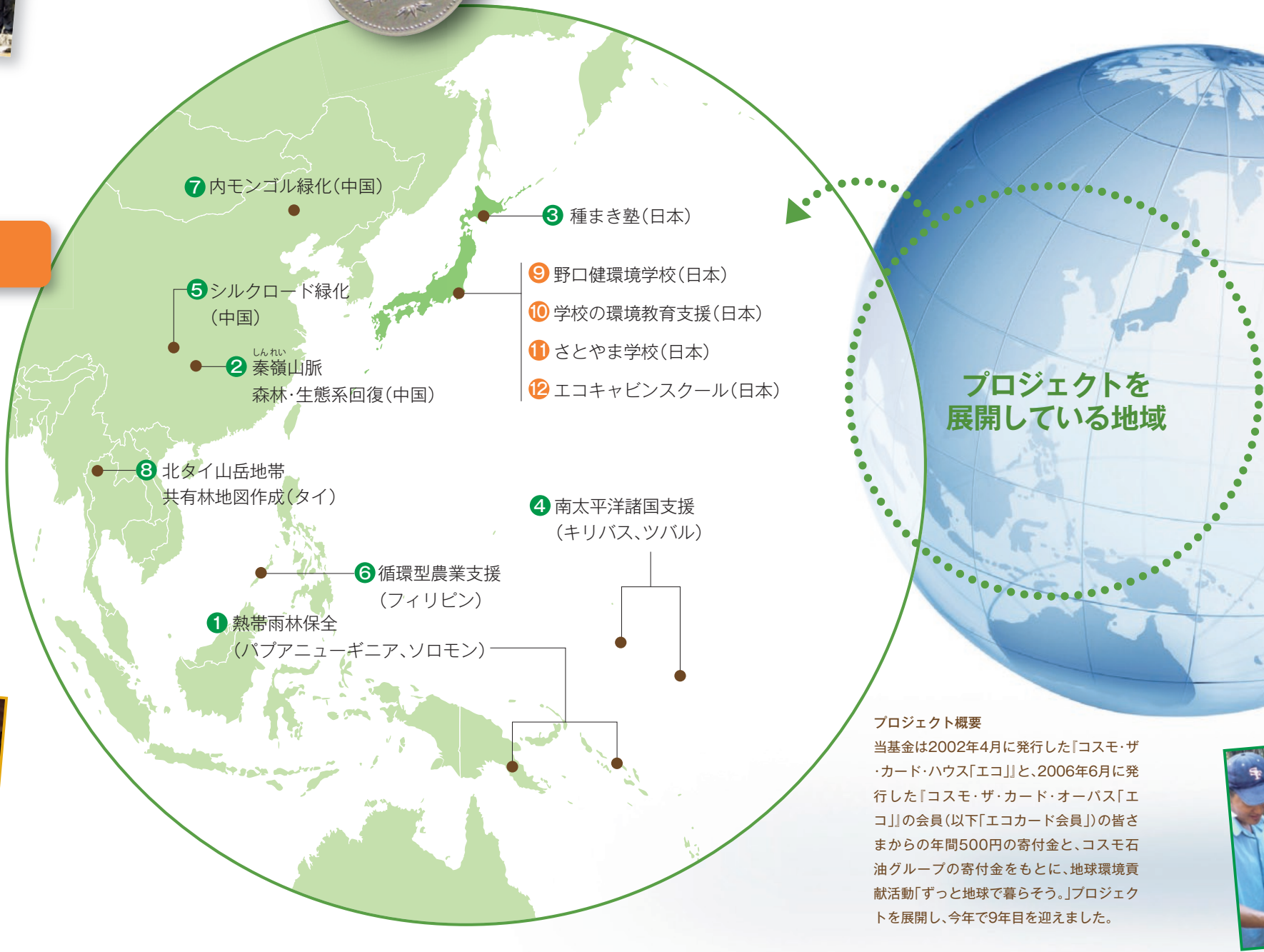


コスモ石油 エコカード基金 プロジェクト紹介

皆さまからの寄付金が、2009年度は12プロジェクトの支援に使われました。各活動のプロジェクトパートナーとともに、日本や世界各地で行った活動をご報告いたします。

※より詳しい情報が掲載されております。「コスモ石油エコカード基金」のホームページを、
<http://www.cosmo-oil.co.jp/>
ホーム > 環境活動 > コスモ石油エコカード基金

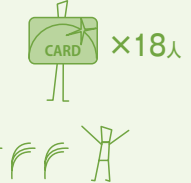
地球と未来のためのプロジェクト



プロジェクト概要
当基金は2002年4月に発行した「コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」」と、2006年6月に発行した「コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」」の会員(以下「エコカード会員」)の皆さまからの年間500円の寄付金と、コスモ石油グループの寄付金をもとに、地球環境貢献活動「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクトを展開し、今年で9年目を迎えました。

1 バブアニューギニア/ソロモン:熱帯雨林保全

バブアニューギニア
エコカード会員×18人の支援で研修生1人が1年間、農業研修を受けました。



ソロモン
500円で5kgのお米が収穫できました。



バブアニューギニアとソロモンにおいて、過剰な焼畑農業を抑制し、安定した食糧自給や生活を営む上で必要な現金収入の確保のために、定置型有機農業の技術指導と普及に取り組んでいます。

2009年度は2国で研修と人材育成を行いました。2010年度も、これらの活動を継続します。



マライタ州北部 Rufoki 稲米所 (ソロモン)

国内外的環境修復と保全

8 タイ:北タイ山岳地帯 共有林地図作成

エコカード会員×78人の支援で村民1人が地図づくりの教育を受けました。



北タイ山岳地帯では、地元住民は森のなかで持続可能な豊かな暮らしを営んできました。しかし、国がすべての森林を「国有林」に指定し、地元住民が森に住めなくなりました。

2009年度は7村が参加して、コミュニティー林の地図とともに村の歴史や生物資源の情報を集めた「村の百科事典」を作成しました。2010年度は10村に拡大する予定です。



GPSを見ながら 村民たちとともに ホイゴン村の歴史をまとめる

2 中国: 秦嶺山脈 森林・生態系回復

500円でキンシコウの住む森に松の苗木を12本植えました。



絶滅危惧種のキンシコウやジャイアントパンダなど、希少動物の宝庫である秦嶺山脈で森の生物多様性の回復をめざしています。

2009年度は14kmの道路に11,000本の松の苗木を植林しました。キンシコウの生態についての研究も継続し、関連情報を掲載したWebサイトも公開しました。



松の苗木 学生が参加しての植林

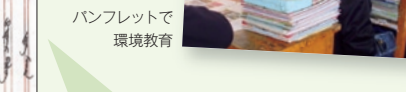
7 中国: 内モンゴル緑化

500円で小中学生2人が環境教育を受けました。

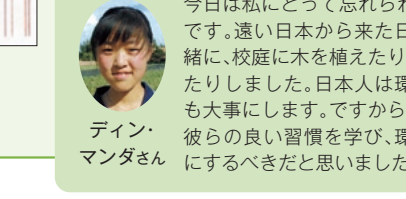


沙漠化が進んでいる中国の内モンゴル自治区において、経済的価値の高い沙棘(サジー)の植林に取り組んでいます。

2009年度は環境教育と沙棘の植林、活動のパンフレットを作成。2010年度はより地域と連携した環境教育の実施と沙棘の植林、国内外での活動の継続を予定しています。



パンフレットで環境教育



今日には私にとって忘れられない一日です。遠い日本から来た日本人と一緒に、校庭に木を植えたり、食事をしたりしました。日本人は環境をとても大事にします。ですから、私たちは彼らの良い習慣を学び、環境を綺麗にするべきだと思います。

3 日本: 種まき塾

500円で植林のための苗木を5本購入しました。



「ココロと大地にタネを蒔く」をスローガンに、樹木の種や実生(種から発芽したばかりの幼い木)を集めて成長させ、苗木を地元で植林する人たちに提供しています。



種まき体験 植樹用ポット作り

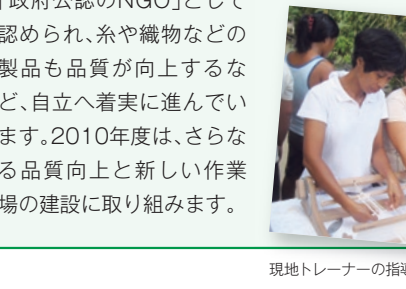
6 フィリピン: 循環型農業支援

エコカード会員×4人の支援で現地女性1人にエリ蚕飼育指導ができました。



フィリピンのパラワン島では、生活のための森林伐採や焼畑農業が増え、豊かな森林が失われつつあります。

2009年度は、現地での技術指導を2回行いました。プログラムに参加する女性たちが立ち上げた団体が「政府公認のNGO」として認められ、糸や織物などの製品も品質が向上するなど、自立へ着実に進んでいます。



現地トレーナーの指導技術も向上 種まき体験

4 キリバス/ツバル: 南太平洋諸国支援

キリバス
500円でマンングローブを2本植えました。



ツバル
エコカード会員×19人の支援で1人の生徒が廃棄物について学びました。



南太平洋にあるキリバスとツバルは海抜が低く、海水面の上昇や波による土地の侵食が住宅や飲料水の不足など、さまざまな問題を起こしています。



植林は種子を3本ずつめに差し込むだけ (キリバス) 埃を知らぬぬりえ教材 (ツバル)

5 中国: シルクロード緑化

500円でシルクロードに沙棘(サジー)の苗木を28本植えました。



シルクロードの地、中国の黄土高原では急速に沙漠化が進んでいます。そこで、経済的価値があり現地の気候に合う沙棘(サジー)を、地元の農民や学生たちと植林しています。



沙棘の実は食べられるので加工食品にすることも考えています 植林作業

Keyword

キーワード

「生物多様性」

今年から、エコカード基金の活動テーマに「生物多様性の保全」が加わりました。耳慣れない言葉ですが、これからの地球環境とわたしたちにとって、実はとても大切な事なのです。

Q 生物多様性って何？

A この地球上には、わかっているだけで約175万種、未発見のものを含めると3,000万種の生物がいるといわれています。これらたくさんの(多様な)生物が存在し生態系をつくっていること、それが「生物多様性」なのです。

Q どうして大事なの？

A 動物、植物、昆虫、細菌など、わたしたちの暮らしは、たくさんの生物からの恵みに支えられています。例えば、動植物がわたしたちの食べ物になっていること。植物が光合成を行い酸素をつくっていること。病気の時に使う薬の成分には、生物から発見されたものもあります。こうした恵みは、多様な生物がいるからこそもたらされるものです。それをこれからも利用し続けるためには、生物多様性を守っていく(保全する)ことが大事なのです。

Q エコカード基金のプロジェクトで生物多様性にかかわるものは？

A 種まき塾では、近隣の山から実生(種子から発芽したばかりの植物)を集めて育て、苗木を供給し植林するので、地域に昔からある本来の自然林・生態系の復活につながります。中国秦嶺(シンレイ)山脈の植林も、地域の森林を復活させ、生態系で重要な役割を果たしている金縷猴(キンシコウ)の生息地を保護しています。バブアニューギニアとソロモンでの農業指導も、森林を焼く焼畑農業を抑制し、熱帯雨林を保護する効果があります。

このような森林と生態系を回復させる取り組みや、将来を担う子どもたちが実際に植林・間伐などを体験し、その意義を理解していくことが、さまざまな生物が生きていく環境を守る、ひいては生物多様性を守ることに繋がっていくのです。



秦嶺(シンレイ)山脈に生息する金縷猴(キンシコウ)

1日1回の募金をインターネットから

コスモ石油のクリック募金サイトでは、好きなプロジェクトを選んでクリックすると、クリックの数だけコスモ石油がエコカード基金に寄付します(クリックは1人1日1回まで)。2009年度は5,429,756回(=円)のクリックがありました。

<http://www.cosmo-oil.co.jp/kankyo/charity/>
ホーム>環境活動>クリック募金



モバイル版クリック募金はこちらから

モバイル版クリック募金もできました。コスモ石油公式モバイルサイトからも参加できます。



コスモ・ザ・カードのご紹介

コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」、コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」は、「地球のために何かしたい」という思いを実現するための、どなたでも参加できるカードです。

コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」、コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」は、お客様から毎年お預かりする500円とコスモ石油グループからの寄付金を、環境保全活動を行うNPOや公益法人などに寄付することで、その活動をサポートしていきます。

コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」 コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」
会員の皆さまからの寄付
入会后、及び次年度以降の入会月に500円の寄付をお預かりします



コスモ石油
グループの寄付

地球環境保全をサポートする
「ずっと地球で暮らそう。」
プロジェクトを運営



コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」 コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」

コスモ石油グループ会社のエコカード基金への寄付

コスモ石油のグループ会社である株式会社コスモトレードアンドサービスのバッテリー「コスモ ECO.R」ならびにコスモ石油ルブリカンツ株式会社の潤滑油「コスモECOシリーズ」の売り上げの一部をエコカード基金に寄付して頂いております。

コスモ ECO.R <http://www.cosmo-trade.com/>

コスモECOシリーズ <http://www.cosmo-lube.co.jp/car/eco.html>

コスモ石油のカードに関するお問い合わせ先

コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」	0120-987-622	携帯電話専用 03-4330-1660	月～土曜・祝日/9:15～17:30 日曜日/10:00～17:30
コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」	北日本 022-771-1500 中部 059-353-2100	東京 043-296-6200 大阪 06-4863-0100	年中無休 9:00～21:00

コスモ石油
エコカード基金
コスモ石油エコカード基金

〒105-8528 東京都港区芝浦一丁目1番1号東芝ビル
コスモ石油株式会社コーポレートコミュニケーション部CSR・環境室内
コスモ石油エコカード基金事務局 TEL 03-3798-3134

